令和3年11月30日例

アイコクアルファ株式会社

企業概要

所 在 地 愛知県稲沢市祖父江町森上本郷十一、4番地1

0587-97-1111 (代表)

X 0587-97-1177 Α

立 昭和18年8月18日

資 本 金 12億円

代 表 者 代表取締役社長 樋田克史

社 員 数 1,041名

事業内容 精密冷間鍛造、ラクラクハンド製造販売、精密切削加工、CAD/CAMシステム開発販売

関係会社 アイコクアルファ運輸有限会社、アイコクアルファ開発有限会社、

アイコクアルファオート有限会社、アメリカンアイコクアルファ(アメリカシカゴ)

斬新な発想とつよいこだわりで、独創的な製品を世界へ。

「会社はそこで働く人のためにある。」という理念を胸に、社員一人ひとりが主体性を持ち、個性を発揮しながら挑戦し続けている会社です。

RH事業部

完全自動化できず、人の手が必要な作業をサポートし続けている「ラクラクハンド」。 "人に寄り添う、手クノロジー"を駆使し、オーダーメイドで一台ずつ丁寧に創り上げることで、世界各 地の多様な分野で活用されています。



ラクラクハンド エアー式と電気式で人の手に追従する フレキシブルなハンドクレーン



ハンディーハンド 形や大きさ、重さの違いを問わず、 手で持てるものなら何でもアシスト



カンタンハンド 袋やカートンを吸着して運ぶ専用機

CF事業部

素材からの成形で、切削と同レ ベルの高精度ネットシェイプを 追求した「精密冷間鍛造」。長年 の開発ノウハウと、脈々と受け 継がれた創意工夫の精神によっ て、世界No.1精度の精密冷間 鍛造に挑戦しています。



等速ジョイント内輪



最新の同時5軸マシニングセン タの活用と独自のワンクランプ 工法の追求により、高度な加工 技術を必要とする「同時5軸切 削加工」で、世界No.1の切削 技術に挑戦しています。





機体部品 ブリスク

MS事業部

モノづくりの経験を活かし、IT技術の 進化と適宜な3次元ソリューションの 提供によって成長し続けるMS事業部。 独自のノウハウをもとに、「CAD/CAM システム」の販売・支援・アプリケー



ESPRIT (CAMソリューション)





告記

稲沢市祖父江町森上にある「アイコクアルファ株式会 社」様を訪問しました。

樋田克史代表取締役社長よりご挨拶いただいた後、 木村CKSTチーフマネージャー(経理チーム)と姫宮 GSRTチーフマネージャー(技術・教育・広報チーム)か ら事業内容についてご説明いただきました。

アイコクアルファ株式会社は、高精度な冷間鍛造によ り、自動車の等速ジョイント部品・トランスミッション部品 などを製造する「CF事業部」、人の手に追従するフレキ シブルなハンドクレーンを製造販売する「RH事業部」、 航空宇宙機体部品やエンジン部品など高い加工技術が 求められる製品を生産している「AP事業部」、航空機や 自動車業界など、製造業で使用するCAD/CAMシステム の開発・販売・支援を行っている「MS事業部」の4つの 事業から成り立っており、それぞれの事業で、高い世界 シェア・日本シェアを誇っています。

今回の訪問で私が興味を持ったことは、技術・業績の 躍進はもちろんのこと、訪問時にお聞きした会社の理念 や方針です。「社員はパートナー、会社と社員が対等であ る」「社員が主体性を持ち、おもしろおかしく働くことが大 切」「入社の条件の一例として恋をしたことがない人、友 達にノートを貸したことがない人はお断り」「一般的な賞 与ではなく、各事業部別に生み出した利益を配分する」 など。社員はパートナーとして信頼され、仕事に責任を持 ち、実行することで成長することができる、そしてそれが 会社全体の成長につながる。こうした環境がゆえに、さら に会社と社員の信頼関係が築かれていると感じました。

事業内容の紹介を受けた後、昨年4月30日にオープ ンした「いこいの広場(樋田成二メモリアルホール)」と、 RH事業部がある一宮工場を見学させていただきました。 「いこいの広場」は、地域の皆さまに感謝の気持ちを込 め、アイコクアルファの発祥の地である旧本社工場の跡 地にオープン。芝生広場やビオトープ、開放感のあるデッ



キテラスなどがあり、ゆったりとくつろげる空間になって いました。また、今年の春にはビオトープにヘイケボタル の幼虫を放ち、初夏にはホタル観賞会を開くそうです。 ゆくゆくは、ホタルを定着させることが夢だとか。実現し 地域の方の夏の楽しみのひとつになるといいですね。

続いて訪れた一宮工場では、小林RHチーフマネー ジャーのご案内で「ラクラクハンド」の製造工程を見学し ました。「ラクラクハンド」は、人の手が必要な作業をサ ポートし、安心・安全に、しかも思いのままに使えるハンド クレーン。たとえば、30kgのお米袋を簡単なハンドル操 作で持ち上げて移動させたり、ハンドクレーンの先端につ ながったグローブをはめることで、重い機材や荷物を簡 単に動かしたりすることができます。私も実際に体験させ ていただきましたが、全く重さを感じることなく米袋を持 ち上げることができました。この「ラクラクハンド」は、ユー ザーの作業環境に応じて仕様が異なるため、オーダーメ イドにこだわり、作業される方に寄り添い、負担を少しで も軽減できるよう創意工夫されています。その想い、熱意 は説明を聞いているだけでも伝わってくるほどでした。

今回の企業訪問を通して、地域の皆様、ユーザー、そし てなにより社員への熱い想いがつまった会社であり、ま た、地域、ユーザー、社員からも必要とされている会社で あると感じました。

最後にお忙しい中、今回の訪問を受け入れてくださっ たアイコクアルファの皆様に感謝申し上げます。

(報告者:広報委員 今枝 依子)

つむぐ 一宮法人会報 156号

24 つむぐ 一宮法人会報 156号